

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開会式の楽曲 担当者に関する一連の騒動に対する声明

このたびの一連の報道においてオリンピック・パラリンピック開会式の楽曲担当者の障害のある方への過去のいじめや暴行と取れる行為が取り上げられている件に関して、あらためて知的障害のある利用者の人権と個人の尊厳を擁護する団体として声明を発表いたします。

報道されている27年前のインタビューの記事の内容が平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックの趣旨に反していることは事実であり、当人の辞任についても当然であります。

問題となるのは、報道された内容が事実とすれば極めて悪質であり、同じ人間として障害のあるなしにかかわらず個人の尊厳を著しく侵害する行為であり、到底容認できることではありません。当人のみならずその行為を抑止できなかった学校、地域社会、行政等の責任も大きく社会全体の問題としてとらえる必要があります。

知的障害のある利用者の身近な支援者である私達は、不当な行為を受けた当事者の苦しみや憤りをわがこととしてとらえ、一刻も早くこのような行為が根絶されることに努めるべきであります。

本会では、あらためて知的障害のある利用者の権利擁護を第一にする専門職団体として利用者一人一人の権利を擁護し、個人の尊厳が尊重される多様な人々が共生する社会づくりに貢献して参ります。

令和3年7月21日

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会 長 井 上 博